

イラク南部バスラ県におけるコミュニティ参画型学校修復・運営改善事業

事業開始前の学校の様子



清掃が行き届いていない教室

最低限の清掃道具も十分に揃っていないこともあり、教室などはしっかりと清掃された状態が保たれていない。



ゴミ箱がなく散乱したゴミ

学校のゴミ集積所に大型のゴミ箱がないため、一か所にまとめられているだけで、放置されている。そのため、ゴミが散乱しやすい状態となっている。



老朽化が進む校舎

長期間にわたってメンテナンスされず、老朽化が進んでいる。早期に修復する必要性が高い。

1. 様々な関係者の意識向上と協力強化



学校運営委員による学校改善計画立案の様子。
この計画は重点課題第2期事業の活動内容に反映されている。



各関係者間の協力が活発化し、自治体などとの協力による活動が行われるようになった。
写真は自治体の協力による学校周辺の道路、及び、下水施設の整備。



教育局職員を対象に、「学校運営委員会を通じた学校改善ワークショップ」を行った。
今までの実績と今後の計画、教育局でどのように支援をすべきかについても話し合われた。

2. 学習環境の整備



修築前の正門。

老朽化のため、鉄筋が露出する部分もあり、コンクリートが剥がれ落ちやすくなっていた。



修築後の正門。

鉄筋補修、コンクリート打ち直しを行い、色あせていた壁を全体的にきれいに塗装し直した。



修築前の庭。

修築開始前はゴミが散乱している殺風景な空間であった。





修築後の庭。

周囲には苗木等が植えられ、また、子どもたちが植物を植えることができるスペースも作られた。



学校運営委員会が主導した学校の清掃活動の様子。

多くの学校にて、学校の維持管理活動が行われるようになってきた。



供与された冷水機を利用する子ども。

取り付けや水タンク購入、継続して必要になる飲料水の購入は、親などから学校運営委員会への寄付として集められた資金で賄われた。

3. 学校における「子どもの参加」の促進



子どもたちによる問題洗い出しと優先付けが行われ、
結果は学校運営委員会に共有された。



子どもたちにより、啓発メッセージの検討、挿絵作成に参加して作られたノート。
写真は試作のサンプル品。



第1回子ども会イベント。親子が一緒に楽しめるゲームに加え、子どもたちが行っている改善活動
を子ども自身が発表するなど、大人への啓発活動も行われた。